2018年(平成30年)7月20日(金曜日)　読　売　新　聞

「苦しみ理解して」
事故死遺族が講演
出雲農林高

大学生の次女を飲酒運転の車との衝突事故で失った出雲市斐川町の住職江角弘道さん(73)＝写真＝が19日、県立出雲農林高校(出雲市下横町)で開かれた「命の大切さを学ぶ教室」(県警など主催)で体験を話した。

次女真理子さん(当時20歳)は1999年、鳥取県智頭町で車2台の衝突事故で亡くなった。江角さんは、全校生徒ら約500人を前に、事故後、脱力感に襲われ人と会うのが嫌になった経験を紹介。「生きているだけで100点満点。被害者や家族の苦しみを理解し、加害者にも被害者にもならないでほしい」と訴えた。